

園や学校に
慣れない

勉強に
ついていけない

お友達と
なかなか
遊べない

行事等への
参加が難しい

活動に
集中
できない

子どもの「困った」に寄り添うサポートを 保育所等訪問支援

ブルーム

BLOOMてんり

発達の遅れや特性のあるお子さまが
集団適応できることを目的としています。

支援内容に関しては
保護者のご要望とあわせて
所属先の先生などとの
お話を通じて決めていきます。

お子さまの様子と保護者の方の想いが第一と考えています
一緒に子育てをしていきましょう

ご利用
対象

保育園・幼稚園・認定こども園・小学校・
中学校・特別支援学校・放課後児童クラブ・
乳児院・児童発達支援・放課後等デ
ィサービスなどに所属しているお子さま

児童発達支援・放課後等ディサービス「SORATO・UMIE」と併用し、保育
所等訪問支援「BLOOM」を利用することで、お子さまの普段関われない
環境にも接する機会を持ち、専門的な観点でのサポートが可能となります。

サービス内容

直接支援・間接支援（詳細裏面参照）

お子さまの様子に応じて対応する直接支援と、通い先の担当の
先生とお子さまとの関わり方を考える間接支援がごございます。

言語聴覚士によることばのサポート

言語聴覚士と連携を図り、言語発達検査をおこないます。その
結果をあそびの中に取り入れることで、より子どもにあった療育
を提供します。

【保育所等訪問支援 BLOOMてんり】Tel.0743-85-4172

奈良県天理市川原城町812番地1-1階 〔事業所番号:2950900056〕

- Fax.0743-85-4173 ●メール:umie-tenri@sorato-umie.com
- 営業時間 8:30～17:30 ●サービス提供時間 9:00～17:00

SORATO・UMIE | EMIFULL



HP



その子の「できた!」を大切に。そのために必要なことをすべて。

子どもの適応には、「楽しいと感じる」経験が重要です。楽しい活動での成功体験が、学びや新たな挑戦へとつながります。私たち「SORATO・UMIE」の療育理念は、子どもたちの「できた!」を尊重し、大切にすることにあります。



理事長
松尾 太郎

責任者からのメッセージ

医師であり父親でもある私は、発達がゆっくりな子どもに適した児童発達支援サービスを見つけることができず、それをきっかけに「SORATO・UMIE」を立ち上げました。私たちの療育プログラムは、言語聴覚士のサポートや科学的なアニメーション教材を活用し、根拠のある支援を提供しています。最も重視しているのは、「教える」よりもまず「楽しい」を通して子どもたちが成長すること。子どもたちが学びやコミュニケーションを通じて楽しい毎日を過ごせるように願って、様々な療育に取り組んでいます。

サンテレビニュース「発達障害の息子へ 医師である父親が施設を開設」→



【保育所等訪問支援サービス】

では、児童福祉法に基づき保育所や幼稚園・小学校など、お子さまが普段通っている施設を専門のスタッフが訪問し、集団生活への適応をサポートいたします。



直接支援

集団での活動や授業の中で支援員が直接的に関わり、手助けや学習を促すことで、お子さまが集団に参加しやすいように支援を行います。保育士や児童指導員が家族や集団生活の場へ訪問し、状況把握や困りごとのアドバイスを行うことができます。



間接支援

通い先でのお子さまの様子を見させていただき、担当の先生と一緒に関わり方や環境作りを考えます。また、必要に応じて保護者様のサポートも行うほか、お子さまに関わる方との面談や、生活環境・指導内容に関わる協議、環境調整の依頼などを行うことができます。



ご利用の流れ

- 1 お問い合わせ
- 2 当施設で対面での相談
- 3 所属先への説明・同意の取得
- 4 サービスの申請・手続き・契約
- 5 個別支援計画の作成
- 6 サービスの開始

言語聴覚士(ST)と連携しています

- ① 言語聴覚士を派遣し、初回アセスメント(言語発達検査)を実施-----
※初回アセスメント(言語発達検査)は有料になります
- ② 言語発達支援計画(特別支援計画)を作成
- ③ 言葉をはぐくむ療育プログラムを実施し、その経過をフォロー
- ④ 再度言語聴覚士が訪問し、支援計画の見直しを実施

ご利用料金

金額は通所給付の決定内容により決定します。世帯の課税状況に応じて、一か月の負担額の上限が決められています。



EMIFULL

「SORATO・UMIE」は、医療法人社団EMIFULLによって運営されています。

この度「子どもの福祉」の一つの形として放課後等デイサービスおよび児童発達支援の二つの事業を新たにスタートさせました。これからも私たちの「地域貢献」にける思いは途切れることなく、日々新たな貢献の形を模索し続けます。